

ペナルティベンチアテンダントの注意点

計時されているペナルティ終了時は、残り時間の数字が消えたら直ちにドアを開けて、選手を氷上に出す。(ペナルティ終了前にドアを開けないよう注意する)

ペナルティベンチに入ってきた選手は、ペナルティの残り時間 30 秒までは着席させる。また、ヘルメットを脱がないように注意する。(汗を吹くために一時的にヘルメットを脱ぐ場合は、汗を拭き終わったらすぐにかぶるよう注意する)

キャンセルアウトやミスコンダクトペナルティなど、計時されないペナルティについては、ペナルティ終了後、次のホイッスルでドアを開ける。

両チームを同時に出す場合は、ビジターチームのドアを先に開け、1~2 秒後にホームチーム側のドアを開ける。(時間差をつける)

ペナルティベンチにドリンクを届けるなど、氷上から他の選手が近寄ってきても決してドアを開けないよう、注意する。

ペナルティベンチに選手がいるときに、氷上でいさかいや怪我が発生しても決してドアを開けないよう注意する。

ランニングタイム中、試合が止まっているとき(オフサイド、アイシングなど)にペナルティが終了した場合は次のフェイスオフ後にドアを空けて出場させるので注意する。